

鳥取縣公報

第八百九十七號
昭和十三年一月二十八日

金曜日

訓令

◇鳥取縣訓令甲第二號

學校職員等身體檢查規程左ノ通定ム

昭和十三年一月二十八日

學校職員等身體檢查規程

鳥取縣知事

立

田

清

辰

縣立學校校長

市町村立學校校長

町村學校組合立學校校長

幼稚園長

私立學校校長

00557

第一條 學校ニ於テハ職員備人等ノ健康ノ増進ヲ圖ル爲本規程ニ依リ身體検査ヲ施行スベシ

第二條 身體検査ハ學校醫ヲシテ之ヲ行ハシムベシ

學校醫ナキトキ又ハ學校醫ニ於テ身體検査ヲ行ヒ難キ事情アルトキハ他ノ醫師ヲシテ之ヲ行シムルコトヲ得

學校齒科醫ヲ置キタル學校ニ在リテハ齒牙ノ検査ハ學校齒科醫ヲシテ之ヲ行ハシムベシ

第三條 身體検査ハ毎年四月ニ之ヲ施行スベシ但シ止ムヲ得ザル場合ニ於テハ六月末日迄ニ之ヲ施行スルコトヲ得

第四條 身體検査ハ學校身體検査規程第五條ニ準據シ左ノ項目ニ就キ之ヲ施行スベシ

既往症、身長、體重、胸圍、榮養、脊柱、眼、耳、鼻及咽頭、呼吸器、循環器、消化器、神經系、皮膚、骨關節、言語、齒牙其ノ疾病及異常

前項目ノ外必要ト認メタル事項ハ特ニ検査ヲ行フコトヲ得

呼吸器ノ検査ハ特ニ精細ニ之ヲ行ヒ必要アル場合ハ細菌學的検査其ノ他適當ナル検査法ニ依リ之ヲ診査スベシ

第五條 前條ノ検査ヲ施行シタルトキ學校長ハ其ノ結果ヲ本人ニ通知スベシ

治療又ハ休養等ヲ要スル者アルトキハ本人ニ注意ヲ興ヘ適切ナル處置ヲ採ラシムベシ

00558

第六條 身體検査ヲ施行シタルトキ其ノ結果ヲ第一號様式、身體検査票ニ記入シ學校長ニ於テ本人在職中之ヲ保管スベシ

第七條 學校長ハ身體検査終了ノ日ヨリ二十日以内ニ第二號様式ノ身體検査報告書ヲ知事ニ提出スベシ

第八條 病氣其ノ他ノ事由ニ依リ身體検査ヲ施行スルコト能ハザル者アリタルトキハ事由止ミタル後直ニ之ヲ施行シ前條ニ準ジ處理スベシ

第九條 知事若ハ學校長ニ於テ必要ト認ムルトキ又ハ學校醫若ハ學校齒科醫ニ於テ必要ト認メ學校長ノ同意ヲ得タルトキハ適當ナル項目ニ就キ臨時身體検査ヲ行フコトヲ得

第十條 幼稚園ノ職員備人等ニ就テハ本規程ヲ準用ス

附 則

本規程ハ昭和十三年四月一日ヨリ之ヲ施行ス

學校職員身體検査規程ハ之ヲ廢止ス

第一號様式

職員備人等身體検査票

注意 用紙ノ大サハ半紙半枚大トス

紙質ハ西洋紙厚漉ノモノトス

身體異常者ノ欄ハ適當ニ増減スベシ

備考欄ハ身體異常者ニ就キ學校長ノ採リタル處置等ヲ記入スベシ

告示

鳥取縣告示第五十一號

滿洲電信電話株式會社社員養成所ニ於テ昭和十三年四月入所セシムベキ電信電話科、電信第二科、技術第二科、電信第三科普通部生徒募集セラル入所希望者ハ電信第二科ハ一月三十一日迄ニ其ノ他ハ二月二十八日迄ニ直接同所(大連市楡樹町滿洲電信電話株式會社社員養成所)電願願セラレタシ追テ武庫書用紙及案内書入用ノ向ハ郵便切手添附ノ上縣學務課又ハ直接同所ニ照會ノコト

昭和十三年一月二十八日

鳥取縣知事 立 田 清 辰

鳥取縣告示第五十二號

左記ノ通養蠶實行組合ノ設立ヲ認可セリ

昭和十三年一月二十八日

鳥取縣知事 立 田 清 辰

養蠶實行組合名	地 區	事 務 所 ノ 所 在 地	認 可 年 月 日
若 櫻	若櫻町一圓	八頭郡若櫻町大字若櫻八〇一番地ノ五	昭和十三年一月廿八日
船 岡	船岡村	同 船岡村大字船岡四六七番地	同
山 郷	山郷村一圓	同 山郷村大字中原二六八番地	同
上 日 下 部	安部村大字日下部 字上日下部地區内	同 安部村大字日下部二二番屋敷	同
山 上	散岐村大字山上	同 散岐村大字山上二七五番地	同
逢 東 東 部	逢東村東部一圓	東伯郡逢東村一四一番屋敷	同
逢 東 中 部	逢東村中部一圓	同 逢東村五二五番地	同
逢 東 西 部	逢東村西條一圓	同 同 六四八番地	同
上 井	日下村大字上井 字海田旭下一圓	同 日下村大字上井三〇番屋敷	同

東郷別所	東郷村大字別所 一園	同	東郷村大字別所一四九番地	同
大谷	由良町大字大谷 一園	同	由良町大字大谷一四三二番地	同
智頭	智頭町大字智頭 市勢南方	八頭郡智頭町大字智頭四一七番地		同
口波	智頭町大字口波	同	智頭町大字口波一二八番地	同
惣地	智頭町大字惣地	同	智頭町大字惣地一〇九番地	同

鳥取縣告示第五十三號

氣高郡小鷺河村河内第二耕地整理組合長同副長左ノ通選任ノ件認可セリ

昭和十三年一月二十八日

鳥取縣知事

立田

清辰

氣高郡小鷺河村大字河内

組合長

國森

一郎

同郡同村大字同

組合副長

野藤

正藏

鳥取縣告示第五十四號

本馬商免許試験左ノ通施行ス試験ヲ受ケントスル者ハ二月二十七日迄ニ縣廳ニ到着スル様願書ヲ提出スベシ

但シ昭和十三年一月以降ニ願書ヲ提出セシモノハ其ノ願書ヲ充用ス

昭和十三年一月二十八日

鳥取縣知事

立田

清辰

一 試験期日 昭和十三年二月二十六日

二 試験場所 鳥取縣廳

三 試験科目

學科 自午前十時
至午前十一時三十分

試問 自午後一時
至午後四時

四 試験ヲ受クルモノハ試験ニ用フル筆墨(萬年筆並ニペンニテモ可)ヲ携帯シ午前九時迄ニ集合スベシ

鳥取縣告示第五十五號

東伯郡下中山村大字榮田田月太藏一月六日牛馬商免許鑑札亡失シタル旨届出セルニ付一月十九日再

交付セシニ依リ昭和九年七月一日付第二四三號ハ無効トス

昭和十三年一月二十八日

鳥取縣知事 立 田 清 辰

鳥取縣告示第五十六號

左記墓地ハ改葬ヲ要スベキニ付緣故者ハ昭和十三年一月三十一日迄ニ管理者宛申出ラレ度右期日迄ニ申出無キ場合ハ管理者ニ於テ適宜處理スバキ旨照會アリタリ

昭和十三年一月二十八日

鳥取縣知事 立 田 清 辰

一 墓地所在地 三重縣津市上濱町字南塩屋一、三二四番地

一 管理者 三重縣津市上濱町五二二番

竹 尾 研 三

彙 報

昭和十三年一月二十一日

鳥取縣總務部統計課

昭和十二年鳥取縣米實收高

六十九萬六千四百五十四石

前年ニ比シ

二萬五千五百二十六石(三分五厘)減

前五ヶ年平均收穫高ニ比シ 二萬二千二百九十石(三分三厘)増

本縣ニ於ケル昭和十二年米收穫高ハ六十九萬六千四百五十四石ニシテ之ヲ前年ニ比シ二萬五千五百二十六石(三分五厘)ノ減收ヲ示シ、前五箇年平均收穫高ニ比スレバ二萬一千二百九十石(三分三厘)ノ增收ヲ示セリ。

而シテ其ノ作付段別ハ三萬二千八百八十六町一段ニシテ之ヲ前年ニ比シ二百二十七町七段(七厘)ヲ増加シ、南米稻百五町七段(三厘)陸稻百二十二町(二割九厘)各増加セルハ災害地ノ復舊、桑園ノ整理其他畑作ノ陸米栽培ニ轉化シタルモノアルニ因ル。

蓋シ本年ノ稻作ハ苗代ニ於ケル天候概ネ適順ニシテ苗ハ良好ナル生育ヲ遂ゲ、植付後七月中迄マデハ低濕持續シタルヲ以テ分蘗鈍リタルモ土用入後急ニ氣温昇騰シ頓ニ旺盛ニ趨キタリ。大暑以後降二百十日マデノ氣象ハ概ネ適順ニ經過シ強剛ナル生育ヲ遂ゲタルモ九月上旬以降秋分ニ至リ氣温低下シ稔實期ノ天候ハ順調ナリト謂フヲ得ズ加フルニ九月十一日暴風雨襲來シタル爲晩稻ニ於テハ穂傷ヲ生ジ登熟ヲ妨ゲラレタルニ比較的被害少ク亦病虫害ノ發生僅少ナリシモ陸稻ニアリテハ旱魃ニ依リ生育ヲ阻害セラレ無收穫地等アリテ著シク減收ヲ見タルモ結局前記ノ如キ實收ヲ示スニ至レ

00569

リ。
 十月末日現在ニ於ケル第二回豫想收穫高ニ比シ水稻ニアリテハ五千五百八十石(八厘)ノ增收ヲ示セ
 リ、之ガ原因ハ格別ナカリシモ暴風雨ノ被害輕微ナリシニ因ル。之ニ反シ陸稻ハ千八百五十六石
 (二割七分七厘)ノ激減ヲ來セルハ前記ノ如ク旱魃ニヨル被害豫想外甚大ナリシ結果ニ因ル。
 尙參考ノ爲最近五箇年間ニ於ケル作付段別及收穫高ヲ掲グレバ左ノ如シ

作付段別	收穫高	
	町段	石
昭和七年	三三二、九八〇、七	六九八、六八九
昭和八年	三三二、一八二、八	七四九、七三一
昭和九年	三三二、二六九、九	五七九、〇六六
昭和十年	三三二、二六五、三	六二一、三五五
昭和十一年	三三二、六五八、四	七二二、九八〇
自昭和七年 至昭和十一年 五箇年平均	三三二、四七一、四	六七四、一六四
昭和十二年	三三二、八八六、一	六九六、四五四
同第一回豫想收穫高	三三二、九〇〇、七	六九九、一一〇

00570

同第二回豫想收穫高

六九二、八三〇

更ニ水稻陸稻ニ付種類別ニ示セバ左ノ如シ

米

昭和十二年

鳥

取

縣

陸稻	作付段別	收穫高(玄米)		價額	一段歩收穫高	單價	
		段	石				
水稲	計	粳米	二九、三九二	六四一、七九九	二〇、三九、八七三	二、一六五	三、一五二
		糯米	二五、四〇五	四九、九二一	一、六〇五、〇一九	一、九六五	三、二六
陸稻	計	粳米	三三二、七九六	六九二、七二〇	二二、八三四、八九二	二、二五〇	三、一五
		糯米	三、三〇八	二、六三九	七六、二九	七六八	二六、八八
合	計	計	七、〇六五	四、七四四	一三七、二〇八	六七一	二八、九二
		計	三三、八八二	六九六、四五四	二二、九七二、一〇〇	二、二一八	三、一五